

本校の生徒指導について

平成24年3月23日
千葉県立若松高等学校長 田邊 義博

軽暖の候、保護者の皆様におかれましては、益々御健勝のこととお喜び申し上げます。
また、日頃より本校の教育活動に御協力いただき誠にありがとうございます。

さて、4月からは一つ上の学年として、学校生活を送ることになりますが、学年末のこの時期に、改めて本校の生徒指導のルールにつきまして共通理解を図るために、保護者の方々にお知らせいたします。
今後の指導につきまして、御理解、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

1. 欠席・遅刻・早退について

- 欠席・遅刻は、8：15分までに必ず学校へ連絡して下さい。（043-232-5171）
無断の場合は、必ずご家庭に連絡します。（罪悪感が希薄になると必ず生活が乱れてきます。）
- 遅刻の判断は、8：40分のチャイムが鳴り終わるまでに教室に入ることとします。
- 雨の日など公共交通機関の自然渋滞は遅刻になりますので注意してください。遅延による遅刻についても同様です。
（事故渋滞は、公遅扱いです。）

2. 服装・頭髪について

- ☆染色・脱色・パーマ（含 縮毛矯正）・エクステンションは禁止。一度加工してしまうとその後たいへん面倒なことになりますので、ご家庭でも厳しく指導してください。
- ☆ピアス・指輪・ネックレス等装飾品は禁止。つけてきた場合は預かります。
- ☆化粧・マニキュア・色つきリップは禁止。その場で落としてもらいます。
- ☆スカートは絶対に短く切らないでください。再購入してもらいます。
- ☆ズボンは裾を破らないこと。また、俗にいう「腰履き」をしないこと。
- ☆指定のスクールバックはありません。他校のスクールバッグは禁止。
- ☆校章・クラス章・カラー・ボタンはきちんと着用。ワイシャツ・ブラウスの第2ボタンをすること。
- ☆男子は学生服の下に必ずワイシャツを着用すること。（Tシャツだけとかトレーナーだけは禁止）
- ☆夏季の男子の服装は、ワイシャツの左胸ポケットに校章をプリントする。
- ☆白、黒、紺、グレーのVネックセーター・ベストのみ防寒として着用してもよい。カーディガン・ボタン付きベストは認めない。
- ☆冬季は必ず上着を着てください。ベスト、セーターだけは、認められません。

段階を追って繰り返し指導しても、改善が見られない生徒については、

改善が見えてからの、再登校をお願いする場合があります。

3. 携帯電話・電子機器の使用について

- 本校では社会的状況を考え、使用マナーを意識させる教育をしていきたいと考えています。
- ・使用できるのは、休み時間と放課後のみとします。
- ・授業中は電源を切ってください。授業中に着信音が鳴って授業妨害した場合は、厳しく指導いたします。
- ・授業中にメールなど打ったりしていた場合は、授業担当に一時預け、担任から放課後返却します。（教師は一切中身を見ることはいたしません）。再三の指導に従わない場合は、担任から保護者様に連絡いたします。
- ・有害サイトに接続できないように、必ずフィルタリングサービスを活用することを願います。

4. バイク乗車（同乗も含む）・免許取得禁止。

生命を失う危険がある行為として、全国で多くの高校が禁止しています。**同乗も**禁止です。

5. アルバイトについて

特別な事情がある場合（生活費の援助等）を除き、**原則として禁止しています**。ただし、長期休業中については出席状況や成績が良好であれば保護者が同意の上で所定の用紙により申請して許可されたら可とします。

6. 旅行について

宿泊を伴う旅行等は、保護者の同意を得たうえ、所定の用紙で申請してください。

7. 自転車について（交通安全も含む）

- ・**自転車で登下校する際の、傘差し運転**、また、音楽等を聞くための**ヘッドホン等や携帯電話の使用は禁止**します。（道路交通法違反）
- ・ 所定の自転車置き場に施錠をして駐輪してください。また、必ずステッカーを**後ろの泥除け**に貼ってください。
年に数回ステッカーのチェックをします。

8. 出会い系サイトについて

高校警察補導連絡協議会から、相変わらず出会い系サイトでの**援助交際や薬物販売が問題**であると報告されています。
援助交際に関しては、金銭感覚が異常になり生活全般が派手になってきます。

9. 部活動について

積極的な参加を勧めています。勉強をする時間がないことを理由に、部活動を退部した生徒で成績が上がった生徒は、ほとんどいません。

10. 暴言・指導無視について

教職員への暴言、または指導無視は特別指導の対象となります。

11. 「ダメなものはダメ」

高校生活は、社会にでる最後の準備期間です。思春期であるがゆえにさまざまな欲求が生じてくるでしょうが、一方で自制心をもって、我慢することを覚えることも必要です。

本校では子どもの心を育て、将来につなげていくために、一つ一つの事柄に対して、何故それが駄目なのかを充分に理解させた上でルールを遵守する態度を養いたいと考えています。また、ルールを守るだけでなく、社会に出てから困らないためのモラルやマナー・エチケットについても身につけさせたいと考えております。

しかし、最近の生徒を見ていると管理されることを嫌い、権利・主張だけが優先し義務をまっとうせず、自由を勘違いし、自分の価値観だけで行動する傾向もみられます。さまざまな教育問題をかかえる現在、大人は毅然たる態度で子どもに接することが大切だと考えます。問題行動を起こす子どもの背景には、家庭の過保護と無関心があげられます。学校と家庭との連携を密にしてお互いにやるべきことを確認し共通理解を図りながら指導にあたりたいと思います。

御家庭での指導もよろしくお願いいたします。